

土砂災害警戒情報の精度向上に向けた取組について

砂 防 課

1 要 旨

市町の避難勧告等の発令や住民の自主避難の判断の支援を目的とした土砂災害警戒情報を平成 18 年 9 月から運用している。

土砂災害警戒情報の更なる信頼性を高め、適切な避難行動につなげるため、これまで蓄積された降雨データを基に有識者の意見を伺いながら土砂災害警戒情報の判定基準の見直しを行った結果、精度を保ちながら発表の回数が、現行より 1 割程度低減されることとなった。

2 取組内容

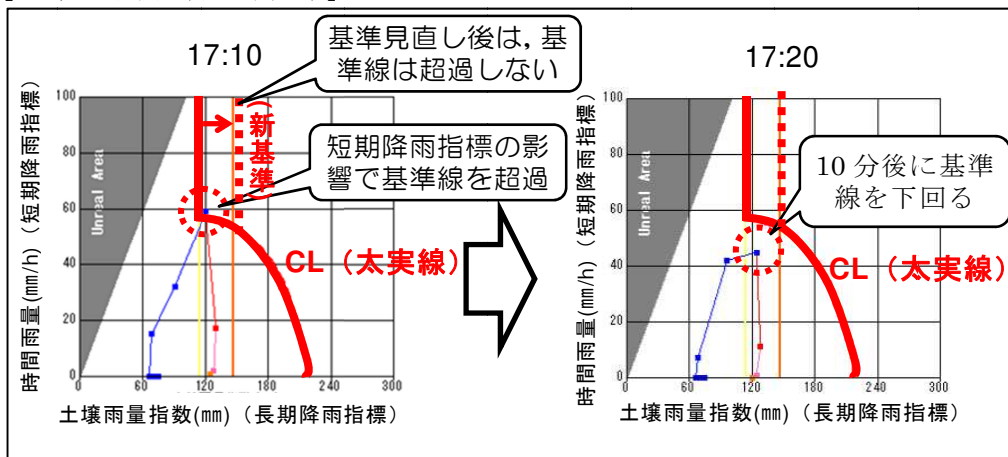
(1) 課 題

現行基準では、夕立などで短時間のみ基準を超過し土砂災害警戒情報が発表されても土砂災害が発生しない事例がある。

(2) 基準の見直し

基準見直しの結果、過去の災害発生時の降雨では 100%発表できていることを確認、その上で発表数は現行基準より 1 割程度低減できる。

【昨年の事例（北広島町）】



※発令の判定方法

土砂災害警戒情報は、「短期降雨指標」と、「長期降雨指数」の2つの指標を用いて、「土砂災害発生危険基準線 (CL)」を超過するかにより判定している。

3 運用開始日

広島地方気象台の土砂災害に関する大雨注意報・警報の新基準の運用開始と合わせ、5月26日（火）から運用を開始したところ。